

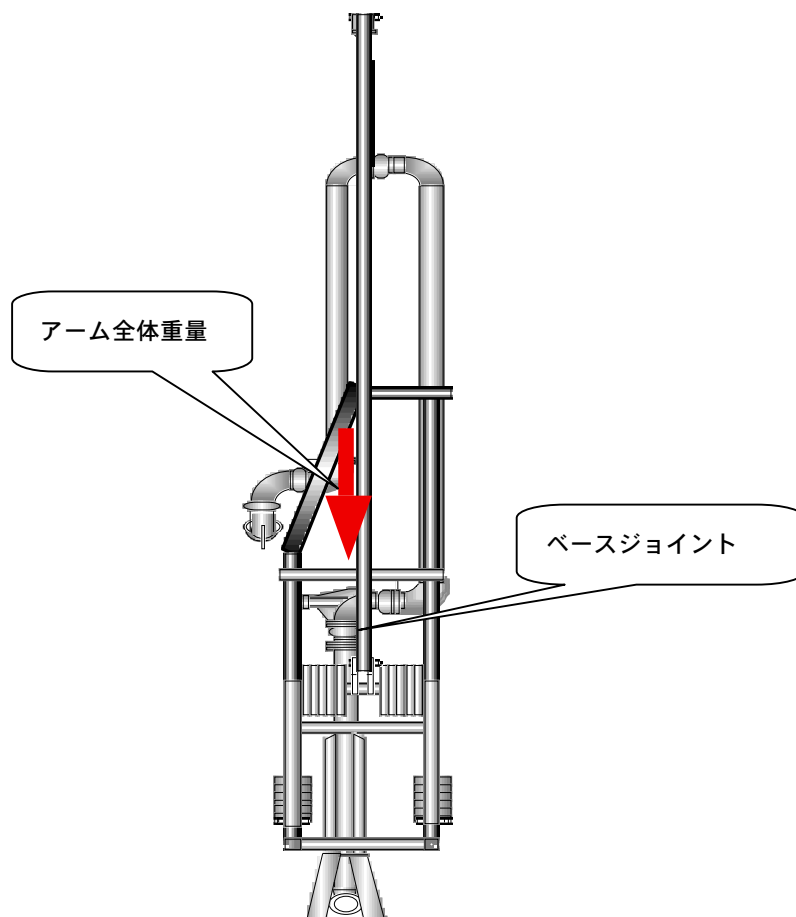


マリン・ローディングアーム

ウェイト両持ち型ローディングアーム
(B0102/B0102E 型アーム)

油機工業株式会社

ウェイト両持ち型ローディングアーム
(B0102/B0102E 型)



(図は B102 型を示します。)

特 長

- 1) 全体バランスは左右に配置したバランスウェイトにより重心が常にスタンドポスト上部にあるベースジョイントの回転中心にあるため格納時のアーム操作が棧橋上で軽く操作することができるようになります。
- 2) 自重による転倒モーメントがほとんど無く、基礎への負担が少なくなります。そのため、**既設基礎ボルトを流用するような更新工事の際にも、基礎ボルトの強度への影響及び棧橋への荷重影響を少なく押さえることができます。**
- 3) 自重による偏芯荷重が無いため、荷重の負担が一番大きいベースジョイントでのボールレースに「片減り」の原因となる「片当たり」が無く、長期間の使用が可能になります。
(実績として40年近くたっても現役で使われているアームが多数あります。)
- 4) 偏芯していないことで、ベースジョイントやスタンドポストに曲げ荷重(自重による)の発生がありません。従い、荷役時の船の揺動によって引き起こされる振動の発生が起きにくい構造となっています。

ウェイト両持ち型ローディングアーム

(昭和電工株式会社東北アンモニア基地向け、2009.10 工場内試験)



両持ちウェイト(左側)

フルクラムスイングジョイント

両持ちウェイト(右側)

軸受け

